

# 事業計画書

自令和4年7月1日 至令和5年6月30日

公益財団法人広島平和ライオンズクラブ福祉事業団

日本の経済は、今後も引き続き新型コロナウイルスの影響が続くものと思われるが、終息に向かいつつあると見える。中小企業の景気は下げ止まり感も感じられる。なお長期金利は引き続き低水準で推移しそうである。

このため、公益財団法人広島平和ライオンズクラブ福祉事業団の基本財産運用益である利息収入がいぜんとして低水準で推移することとなり、当期一般正味財産が大幅なマイナスになることが予想され、いっそう苦しい財団運営を強いられそうである。

こうした中、当福祉事業団も公益財団法人に移行して14期目を迎えることとなり、適切な資産運用を図ると同時に、広島平和ライオンズクラブの強力なご支援を仰ぎながら、以下のような事業活動を実施するものとする。

## 1. 奨学金支給事業について

本年度も、引き続き心身障害児若しくは事故又は災害による遺児の保護育成、自立に関する助成を進めていくこととする。

具体的には、高等学校に通学する心身障害児若しくは事故又は災害による遺児に対し、奨学金（月額12,000円）及び入学時の入学金（50,000円）を助成するものとする。

なお、前年度に3学年3名が卒業し、新3学年3名、新2学年2名、4月新規の応募がなく、計5名で継続している。本年度中に2名卒業し、1名は4学年(通信制)となり、新たに3名の新入生を加えて、6名の高校生に対して奨学金等を支給するものとする。

## 2. 基本財産の運用について

本年度は、資産の運用利回りは低水準で推移することが予想されるので、基本財産の運用について安全性を重視しつつ、収益性の高いものを検討していく必要があると思われる。